OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	募集　大阪大学大型計算機センターニュース　第112号（Vol.29　No.1）
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1999, 112, p. 155-162
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66342
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

募集

平成11年度研究開発計画の公募について

大阪大学大型計算機センターでは、共同利用機関としての実をあげ、学術の研究・教育に資することを目的に、プログラム及びデータベースの研究開発を進めています。

そこで、利用者の方で下記のテーマについて研究開発し、そのプログラムまたはデータベースを本センター利用者に公開していただける方を募集します。特に「1．(9)特定研究開発課題」については、審査及び開発経費が優先的に配慮されます。

1．研究開発計画の対象テーマと申請書

◆対象テーマ

(1)基礎及び応用プログラム開発に関するもの
(2)計算機言語に関するもの
(3)計算機利用に関するもの（各種のユーティリティ・プログラム作成など）
(4)プログラム・ライブラリの書き換え、改良及び精度、信頼性の検定
(5)計算結果の可視化に関するもの
(6)データベースの応用、利用支援プログラムの開発に関するもの
(7)学術文献データベースの構築に関するもの
(8)各種ファクトデータベース（数値、図形、画像データベース等）の構築に関するもの
(9)特定研究開発課題
　(A)スーパーコンピュータ、演算サーバ、画像処理サーバでの開発に関するもの
　(B)ベクトル化及び並列化による高速化技法の開発に関するもの

◆申請書

(1)～(5),(9)ライブラリ・プログラム開発計画申請書
(6)～(8)　データベース開発計画申請書

2．応募資格

本センター利用有資格者

3．申請書の請求先・提出先

大阪大学大型計算機センター　共同利用掛

4．応募期間

応募は年間を通じて受け付けます。

5．研究開発の期間

原則として当該年度末までとします。複数年度にまたがる場合は、再申請により継続します。

6．研究開発の経費

研究開発に要する計算機の利用負担金の一定額を免除します。

7．研究開発の承認

応募いただきました研究開発計画は、プログラム・ライブラリ研究開発計画委員会またはデータベース研究開発計画委員会で審査し、採否を決定します。

8．研究開発者の義務

○開発終了時に、開発したプログラム、データベース及び利用手引書の提出をお願いします。
○利用手引書はセンターニュースに掲載します。

9．著作権

○開発されたプログラム、データベースの著作権は、原則として開発者にあります。
○開発者は、学術雑誌等への発表や公開を行うことができます。

10．その他

詳細は、センター内規（「ライブラリ・プログラム開発内規」、「データベース開発内規」）をご覧ください。

≪問い合わせ先≫　大阪大学大型計算機センター　共同利用掛
電　話　06-6879-8808
E-mail　kyoudou@center.osaka-u.ac.jp
（研究開発部、共同利用掛）

○ 平成10年度 ライブラリ・プログラム開発申請課題一覧（終了）

開発申請者	所　　属	開　発　課　題
北　川　浩	大阪大学大学院工学研究科 教授	有限要素法－分子動力学結合シミュレーションプログラムの開発

○ 平成11年度 ライブラリ・プログラム開発申請課題一覧

（平成11年 4月30日現在）

開発申請者	所　　属	開　発　課　題
黒　澤　努	大阪大学医学部 助教授	医用画像の高速編集システムの構築 〔継続〕
藤　堅　正	近畿大学理工学部 講師	原子･イオンの電子状態 〔継続〕

○ 平成10年度 データベース開発申請課題一覧（中止）

開発申請者	所　　属	開　発　課　題
楠 木　正 巳	大阪大学蛋白質研究所 助教授	高機能プロティンデータバンク検索システムの開発

○ 平成11年度 データベース開発申請課題一覧

（平成11年 4月30日現在）

な　　し

（募 集）

平成11年度・定額制試行のモニターを募集します！

演算サーバ定額制

☆５０万円で使い放題、２０組募集

HOT NEWS!

スーパーコンピュータ定額制

☆申請額５０万円で最高２倍（１００万円）使用可能（*）、２０組募集

☆申請額１００万円で最高４倍（４００万円）使用可能（*）、１０組募集

☆申請額２００万円で最高６倍（１２００万円）使用可能（*）、５組募集

（*）１組単位として計算機使用合計額が計算されますので、その計算機使用限度額を超えれば、使用停止となります。
例）スーパーコンピュータ定額制で、50万円の場合は１００万円が計算機使用限度額となります。

●利用期限

平成１１年 ４月から平成１２年 ３月末日（平成１１年度運用最終日まで）

●問合せ先

① **定額制の試行運用並びに計算機利用負担金に関する問い合せ**は、
業務掛（電話 06-6879-8811、FAX 06-6879-8814、E-mail gyoumu@center.osaka-u.ac.jp） です。

② **申込方法及び申し込み先**は、
共同利用掛（電話 06-6879-8808、FAX 06-6879-8814、 E-mail kyoudou@center.osaka-u.ac.jp）です。

平成 11 年度定額制試行モニターを募集します！

国立学校校費、研究所校費、産学連携等研究費、

文部省科学研究費補助金を問わず申し込み可能！

☆演算サーバ定額制

- 申請額 50 万円で使い放題、20 組募集
- 1 申請ファイル容量 5GB まで使用可能（平成 10 年度は 2 GB）
- 演算サーバ以外に、画像処理サーバ Onyx2、画像処理ワークステーション Visualize C200、画像処理サブシステム Indigo2、TWO250、ワークステーション AlphaStation が利用可能（平成 10 年度は画像処理ワークステーション Visualize C200 のみ）
- 平成 10 年度定額制をご利用いただいた 11 組中、3 組が計算機利用負担金換算にして 680 万円、650 万円、630 万円分のご利用をいただきました。また、その他に 100 万円分を超えた組が 3 組ありました。（いずれも平成 11 年 2 月 1 日現在）
- 平成 10 年度定額制利用者の EXEMPLAR 利用 CPU 時間では、一つの利用者番号で 16,000 時間、10,000 時間をお使いいただいた方がおられます。（いずれも平成 11 年 2 月 1 日現在）

☆スーパーコンピュータ定額制

- 申請額 50 万円で最高 2 倍 100 万円まで使用可能、20 組募集
- 申請額 100 万円で最高 4 倍 400 万円まで使用可能、10 組募集
- 申請額 200 万円で最高 6 倍 1200 万円まで使用可能、5 組募集
- 1 申請ファイル容量 5GB まで使用可能

1　目的

計算機の利用形態の変更や負担金の低価格化に伴い、これまでの従量制課金ではなく、利用額に関係なく一定額を負担していただく、定額制の導入を希望する声があがっています。

- いくらぐらいの負担金設定でどれくらいの利用が見込めるか。
- どのような運用体制が必要か。

これらのことを判断するための基礎データの収集、並びに必要な運用体制や問題点を明らかにするために定額制を試行いたします。これは、ある一定の制限のもとで、利用者にご協力いただき、定額制に必要な運用体制や問題点を明らかにするためのものです。センターと一緒に1年間試行に協力していただける方々を募集いたします。

2　期間

平成11年4月～平成12年3月末日（平成11年度運用最終日まで）

3　定額制の種類

（1）演算サーバの定額制

① 演算サーバ Exemplar、画像処理サーバ Onyx2、画像処理ワークステーション Visualize C200、画像処理サブシステム Indigo2、TWO250、ワークステーション AlphaStation が利用できます。(http://www.center.osaka-u.ac.jp/j/tebiki/1-1.htm)

② 申請額50万円で上記計算機が使い放題。募集組数は20組。1組10名の方が登録できます。

（2）スーパーコンピュータの定額制

① スーパーコンピュータ SX-4、画像処理サーバ Onyx2、画像処理ワークステーション Visualize C200、画像処理サブシステム Indigo2、TWO250、フロントエンドコンピュータ UP4800、ワークステーション AlphaStation が利用できます。(http://www.center.osaka-u.ac.jp/j/tebiki/1-1.htm)

② 申請額により利用できる上限額が異なる3つのコースがあります。

(a)　**50万円コース**：申請額50万円で上記①の計算機群を最高2倍の100万円（上限額）分まで利用できます。募集組数は20組。1組10名の方が登録できます。

(b)　**100万円コース**：申請額100万円で上記①の計算機群を最高4倍の400万円（上限額）分まで利用できます。募集組数は10組。1組15名の方が登録できます。

(c)　**200万円コース**：申請額200万円で上記①の計算機群を最高6倍の1,200万円（上限額）分まで利用できます。募集組数は5組。1組20名の方が登録できます。

4　運用・その他

① 利用できる経費は次の通りです。
国立学校校費、研究所校費、大学附属病院校費、産学連携等研究費、文部省科学研究費補助金、委任経理金、公・私立学校経費、他省庁経費

② 計算機利用負担金の請求は、申請承認の翌月に行います。

③ 申請額の増額変更はできません。

④ お支払いいただいた計算機利用負担金は、申請額分の計算機利用が行われなかった場合についても返還いたしませんので、あらかじめご了承願います。

⑤ スーパーコンピュータ定額制の試行は、各コースの申請額の2倍から6倍の計算機の利用を保証するものではありません。申請翌月に負担金請求が行われ、利用期間内において、それぞれのコースの申請額を超えて利用された場合に、各コースにお

ける上限額の範囲内で、申請額を超えた計算機利用負担金が請求されないという試行制度です。各組 10 名から 20 名の方で計算機をご利用いただきますが、各組で利用されている方々の計算機利用額の合計が上限額に達した時点で計算機の利用はできなくなります。

⑥ 計算機利用額は、「大阪大学大型計算機センターの利用に関する暫定措置を定める規程」の別表（http://www.center.osaka-u.ac.jp/j/gyoumu/kakin.txt）に基づき計算されます。スーパーコンピュータ及び演算サーバ以外のサーバあるいはワークステーション、その他の機器を利用された場合にも別表が適用され計算されます。特に、複数の方を登録する場合は、それぞれ基本負担額が計算機利用額に加算されますので、あらかじめご了承願います。

⑦ 利用者のホームディレクトリはファイルサーバ AUSPEX 上に作成いたします。ファイルサーバのファイルは各定額制とも 1 申請 5GB まで自由にご利用いただけます。AUSPEX 上のファイル負担金については、申請承認後にお支払いいただく負担金に含まれており、無料ですが、センター側で 1 週間に一度、容量チェックを行い、5GB 超過時には電子メールにてご連絡いたしますので、5GB 以内に収まるようにお願いいたします。なお、1 ファイルの大きさには 2GB という制限があります。

⑧ ファイルの利用については、短期ファイルのサービスもしております。この場合のファイル負担金は不要です。'/short/利用者番号' の下に自由に作成することができます。ただし、作成もしくは更新後 2 週間を経過すれば強制的に削除されます。

⑨ 利用できる計算機資源（CPU 時間、メモリ等）は、設定されているジョブクラス（ http://www.center.osaka-u.ac.jp/j/system/limitation.html#NQS 、http://www.center.osaka-u.ac.jp/j/system/limitation.html）の範囲内でご利用いただきます。

⑩ 定額制以外の利用者の利用を圧迫するなど、センターの運用上、支障がありやむを得ない場合には、ジョブスケジュールの変更や、利用をご遠慮いただくことがあります。

⑪ スーパーコンピュータの定額制を申請された方で、プログラム開発を行われる場合は、画像処理ワークステーション上で動作するスーパーコンピュータのプログラム開発環境 PSUITE（http://www.center.osaka-u.ac.jp/j/manual/psuite/）を利用いただき、利用報告をいただきます。

⑫ 運用や実行上の問題点を明らかにするため、センターとの協議や計算機利用レポートの提出などにご協力いただきます。

⑬ 募集組数を超えた場合は、センター側で選考させていただきます。

5　申し込み方法・締め切り日

①申し込み方法

共同利用掛に用意しています申し込み用紙に必要事項を記入の上、共同利用掛までお申し込みください。

②締め切り日

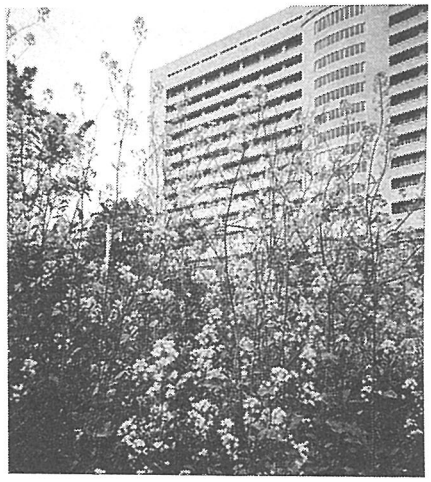
（1 回目）平成 11 年 4 月 5 日（月）……**終了**

（2 回目）平成 11 年 6 月 28 日（月）

6　問い合わせ先

① 定額制の試行運用ならびに利用負担金に関するお問い合わせは、
業務掛（電話 06-6879-8811、E-mail　gyoumu@center.osaka-u.ac.jp）まで
お願いします。

② 申し込み方法に関するお問い合わせは、
共同利用掛（電話 06-6879-8808、E-mail　kyoudou@center.osaka-u.ac.jp）
までお願いします。



（医学部附属病院前）

（募 集）

SX-4モニターの募集について

～～～ 計算機利用サービスの充実のため、お知恵をお貸しください. ～～～

本センターでは、平成９年１月より新スーパーコンピュータ SX-4 を導入し、そのサービスを行ってきました。SX-4 は CPU 数 64 台の並列コンピュータで、その総合演算性能は従来機種に比べて大幅に向上しています。その性能を最大限に引き出すためには従来のプログラミング技術のみでは不十分です。特に並列化プログラミングは、新しいシステムに応じた技術を蓄積活用していかなければなりません。また、SX-4 には利用者の方々へのアンケート結果を反映して数多くのアプリケーションソフトウェアが導入されています。

しかし、これらのアプリケーションプログラムをより有効に活用していくには、新しいプログラミング技術と同様、詳しい利用方法やノウハウを蓄積していかなければなりません。

そこで、利用者の方々に SX-4 をいろいろな角度からモニターしていただき、得られた結果やノウハウ（失敗例や成功例を含めて）を本センターのすべての利用者が共有できるよう提供していただくことが重要です。この趣旨に沿って、以下の要領で SX-4 モニターを募集します。

● SX-4モニターの応募要領 ●

１．応募資格　　本センター利用者及び利用有資格者

２．応募方法

本センター指定の応募用紙に、本センターの計算機及び他の計算機の利用経験と、SX-4 モニターとしての SX-4 使用計画を具体的にご記入ください。応募用紙は、本センター共同利用掛で配布しています。提出していただいた内容は、プログラムライブラリ研究開発計画委員会で審査のうえ、採択を決定いたします。

なお、提出していただいた内容について、本センターからお問い合わせすることがあります。

（モニター活動内容の例）

＊各プログラミング言語による並列化プログラミング技術を蓄積し、全利用者に提供する。

＊ MPI を利用した並列化プログラミング技術を蓄積し、全利用者に提供する。

＊各アプリケーションの詳細な利用方法、ノウハウを蓄積し、全利用者に提供する。

＊各アプリケーションをより容易に利用するためのツール群を作成し、全利用者に提供する。

＊各アプリケーションの利用者メーリングリストやホームページを開設し、積極的に運用を行う。

３．モニターの義務

① モニターの活動の中で得た情報を、SX-4 ユーザーズメーリングリストにおいて随時報告する。

② モニターの活動の中で得た情報を、センターニュースの原稿としてまとめる。

４．利用負担金の免除

プログラムライブラリ研究開発計画委員会において審査のうえ、20 万円の範囲内で全額免除します。

５．利用期限

平成１２年３月末

６．利用者番号

モニター利用者番号は、現在の利用者番号とは異なる特別番号を付与します。

７．問い合わせ先及び申し込み先

本センター共同利用掛　TEL06-6879-8808、FAX 06-6879-8814、E-mail kyoudou @ center.osaka-u.ac.jp

○ SX-4 及び導入アプリケーションの情報は、以下の URL 及びセンターニュース Vol.26 No.4（1997-1）で提供しています。　　http://www.center.osaka-u.ac.jp/j/